

平成28年度 秦野市の財務書類【概要版】 (一般会計等)

平成26年4月に国から資産や負債などのストック情報の正確な把握や他団体との比較が可能となるよう、固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした全国統一的な基準による財務書類等を作成するよう要請されました。

これを受け、固定資産台帳の整備や複式簿記に対応した公会計システムの導入を進め、平成28年度決算について「**統一的な基準による財務書類**」を作成しました。

貸借対照表(B/S)

平成29年3月31日 現在 単位:千円

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	212,751,412	固定負債	39,591,450
有形固定資産	209,847,448	地方債	29,846,341
無形固定資産	1,620	退職手当引当金	6,775,769
投資その他の資産	2,902,345	その他	2,969,341
流動資産	5,954,211	流動負債	4,177,553
現金預金	2,482,835	地方債(1年以内に償還予定)	3,121,165
未収金	356,733	賞与等引当金	507,225
財政調整基金	3,140,611	その他	549,164
徴収不能引当金	△ 39,667	負債の部 計	43,769,004
その他	13,698	【純資産の部】	
		純資産	174,936,619
資産の部 計	218,705,623	負債及び純資産の部 計	218,705,623

資産(土地、庁舎、道路など)は約2,187億円、負債(地方債、未払金など)は約438億円

貸借対照表は、会計年度末時点における資産と、その資産をどのような財源(負債、純資産)で賄ってきたかを示したものです。

平成28年度末では、約2,187億円の「資産」を保有しています。「資産」の多くは、これまで取得してきた土地や建物などの有形固定資産となっています。

一方、約438億円の「負債」をかかえています。「負債」の多くは、施設整備の際に世代間の負担を平準化するために発行した事業債などの地方債となっています。

市民一人当たりの資産額 約134万3千円、負債額 約26万9千円

※ 平成29年1月1日現在の住民基本台帳人口(162,809人)を用いて算出

※ この概要版の各財務書類は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計と一致しない場合があります。

行政コスト計算書(P/L)

平成28年4月1日～平成29年3月31日 単位:千円

経常費用	43,243,513
人件費	9,469,871
物件費等	9,946,622
その他の業務費用	712,964
移転費用	23,114,057
経常収益	1,320,022
臨時損失	8,934
臨時利益	0
純行政コスト	41,932,425

税金等で賄う純行政コストは約419億円

行政コスト計算書は、福祉サービスやごみの収集などの資産にならない行政サービスにかかった費用や、その対価として得られた使用料・手数料などの収益が、1年間でどのくらいあったのかを示したものです。

平成28年度では、約432億円の費用(経常費用)に対し、約13億円の収益(経常収益)がありました。この費用と収益の差額(純行政コスト)約419億円は、税金等で賄うこととなります。

純資産変動計算書(N/W)

平成28年4月1日～平成29年3月31日 単位:千円

前年度末純資産残高	174,977,533
純行政コスト	△ 41,932,425
財源	41,408,488
税金等	29,836,657
国県等補助金	11,571,830
本年度差額	△ 523,937
資産評価差額	0
無償所管換等	483,023
その他	0
本年度純資産変動額	△ 40,914
本年度末純資産残高	174,936,619

純資産は約4,100万円の減

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを示したものです。

平成28年度の純資産は、前年度から約4,100万円減の約1,749億円となっています。寄附などにより無償で取得した資産があったものの、純行政コストに対する財源が不足したため、純資産が減少しました。

資金収支計算書(C/F)

平成28年4月1日～平成29年3月31日 単位:千円

業務活動収支	1,784,443
業務支出・臨時支出	40,106,462
業務収入・臨時収入	41,890,906
投資活動収支	△ 2,547,873
投資活動支出	5,249,122
投資活動収入	2,701,248
財務活動収支	△ 269,686
財務活動支出	3,448,686
財務活動収入	3,179,000
本年度資金収支	△ 1,033,116
前年度末資金残高	2,966,787
本年度末資金残高	1,933,671
本年度末歳計額現金残高	549,164
本年度末現金預金残高	2,482,835

平成28年度単年度の資金収支は約10億円の赤字、年度末の現金預金残高は約25億円

資金収支計算書は、1年間で、どのような活動に資金(現金預金)が使われたかを、活動の性質ごとに示したものです。

平成28年度単年度の資金収支は、約10億円の赤字となっていますが、この赤字は、前年度からの繰越金等で補填しています。

この結果、平成28年度末の現金預金の残高は、約25億円となっています。(歳計外現金を含む。)